

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年12月28日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。**

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(10月)

新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を下回った。(11月)

● **産業面・・・鉱工業生産は、このところ減少している。**

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(10月)

● **雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。**

きまって支給する給与、所定外労働時間はともに前年を上回った。(10月)

求人倍率は、有効、新規ともに前月を上回った。新規求人数も前年を上回った。(11月)

○ **需要面の動き**

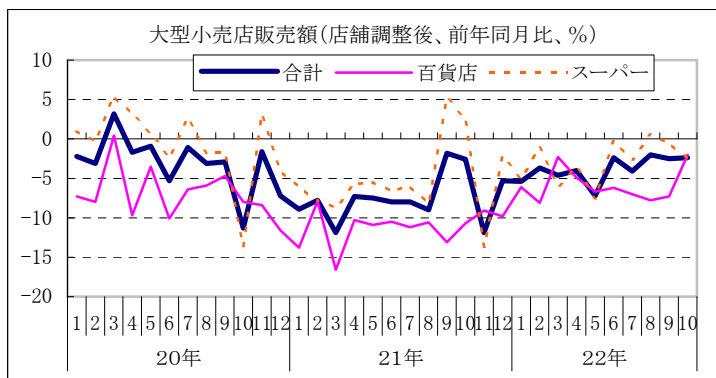
大型小売店販売額(10月)

全店舗の販売額は、50億7,500万円(前年同月比3.3%減)と4か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも31か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	507,500	▲3.3	(▲2.4)
百貨店	162,700	▲2.0	(▲2.0)
スーパー	344,800	▲3.9	(▲2.5)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(10月)

36億200万円(前年同月比13.1%増)と14か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(11月)

1,343台(前年同月比28.1%減)と3か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(11月)

200戸(前年同月比28.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比13.0%減)は前年を下回ったが、貸家系(前年同月比101.8%増)は前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(11月)

7億3,200万円(前年同月比69.4%増)と前年を上回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比654.5%増)等で前年を上回った。

公共工事請負金額(11月)

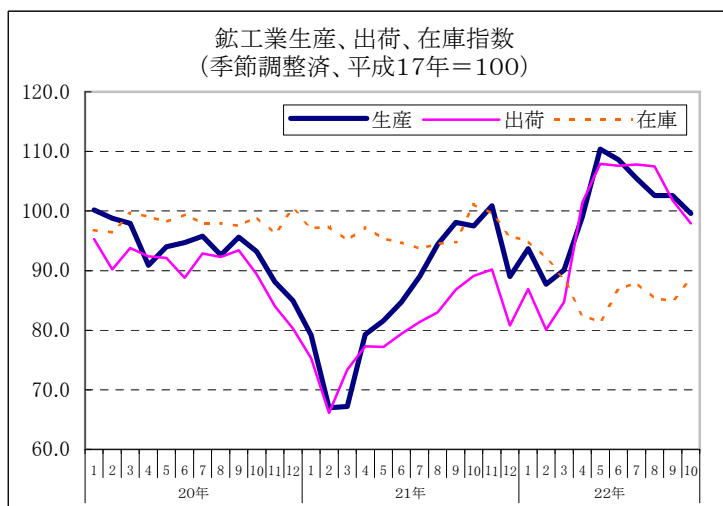
37億1,700万円(前年同月比28.8%減)と5か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比58.1%減)、県(前年同月比3.2%減)、市町村(前年同月比25.7%減)といずれの発注者でも前年を下回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(10月)

生産指数(季節調整済)は99.6(前月比2.9%低下)となり、原指数は107.4(前年同月比0.4%低下)と15か月ぶりに低下となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが1.3%低下となり3か月連続の低下、電子部品・デバイスが3.5%上昇となり5か月ぶりの上昇、電気機械が8.9%上昇となり2か月ぶりの上昇、一般機械が13.2%低下となり7か月ぶりの低下となった。在庫指数(季節調整済)は88.6と前月比4.2%上昇した。



大口需要電力実績(10月)

132,694kwh(前年同月比2.3%減)と5か月ぶりに前年を下回った。鉱工業用の大口需用電力を主要4区分で見ると、鉄鋼以外の区分(パルプ・紙、機械、その他の製造)で前年を下回った。

青果物卸売量(11月、鳥取市場)

野菜が1,318t(前年同月比10.3%減)と11か月続いて前年を下回り、果実は928t(前年同月比8.9%減)と4か月続いて前年を下回った。

漁獲量(11月、境港)

17,821t(前年同月比33.4%増)と2か月続いて前年を上回った。

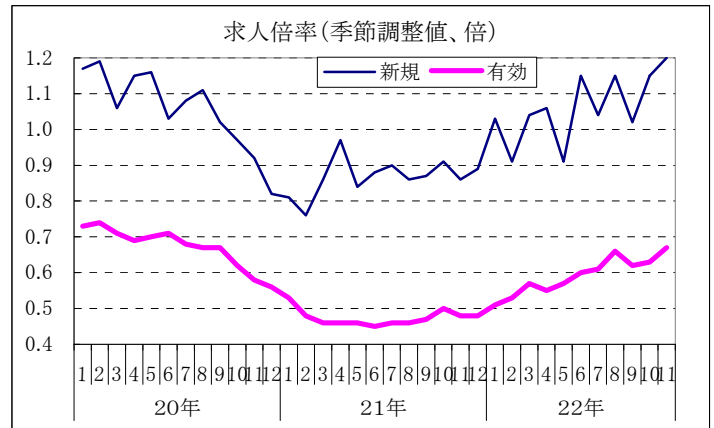
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(11月)

1.20倍(前月差0.05ポイント上昇、前年同月差0.34ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,629人(前年同月比15.7%増)と4か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(11月)

0.67倍(前月差0.04ポイント上昇、前年同月差0.19ポイント上昇)となっており、6か月続いて0.6倍台となった。



現金給与総額(10月)

243,857円(前年同月比0.8%増)と4か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、243,515円(前年同月比0.8%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(10月)

8.5時間(前年同月比7.7%増)と11か月続いて前年を上回った。主力の製造業は16.6%増となった。産業別の前年同月比では、卸売・小売業(前年同月比44.8%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比45.4%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(10月末)

預金残高は、1兆9,887億円(前年同月比3.1%増)と22か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,388億円(前年同月比0.8%増)と18か月続いて前年を上回った。

○参考

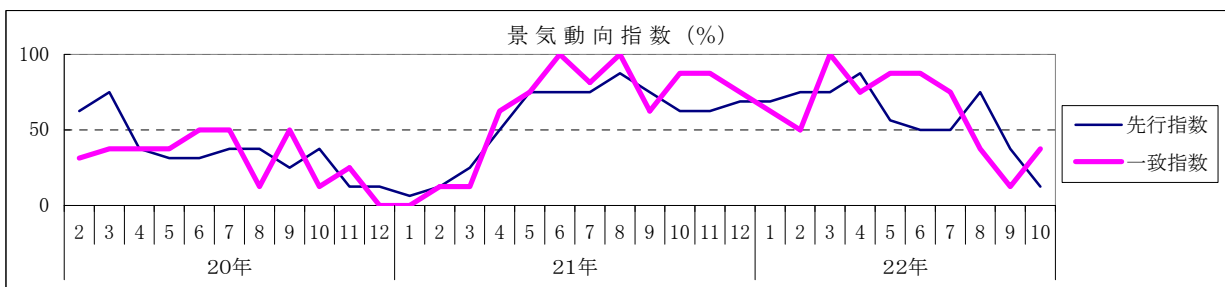
鳥取県景気動向指数(10月)

先行指数12.5%、一致指数37.5%、遅行指数30.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%を下回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(11月)

件数は3件で前年と同数となり、負債総額は3億9,000万円の前年に比べて33億9,900万円減少(前年同月比89.7%減)した。

消費者物価指数(11月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.2となり、前月と同水準、前年同月比(▲0.3%)は低下した。

鳥取県の推計人口(12月1日現在)

587,481人で、前月と比べて202人(0.03%)減少し、前年同月と比べて3,544人(0.60%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年11月調査)

平成22年10～12月期は、平成22年7～9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となっている。

平成23年1～3月期は、平成22年10～12月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもが不調となる見通しとなっている。